

ファンコイルドレン配管用 「スムーズドレンホースFCU用」施工要領

1. 「スムーズドレンホース FCU 用」セット内容の確認

- | | |
|-----------------------|-----|
| ① 断熱材付ホース | 1 本 |
| ② 機器側めねじソケット | 1 ケ |
| ③ 配管側ソケット | 1 ケ |
| ④ ファスナー | 2 ケ |
| ⑤ 機器側接続用断熱材 | 1 ケ |
| ⑥ 機器側ソケット (両端ソケット時のみ) | 1 ケ |

※③配管側ソケットが VP30 用の場合には別途専用の断熱材が付属されます。

<片側めねじソケット仕様>

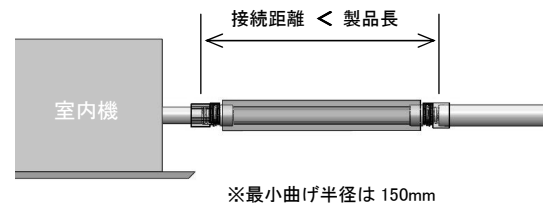


<両端ソケット仕様>



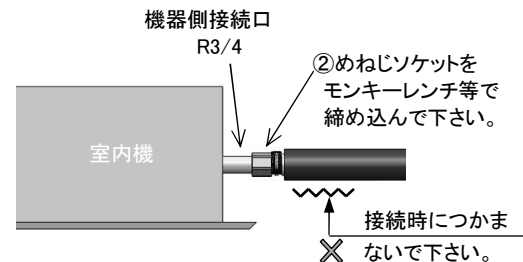
2. 取付位置の確認

- ・機器側接続口と横引き配管との接続距離が、製品長(取付面間)よりも短いことを御確認下さい。(接続距離が製品長よりも長い場合、ホースに無理な力が掛り、破損の原因となります。)
- ・ホースの最小曲げ半径は 150mm です。 曲げて使用される場合は、必ず曲げ半径が **150mm 以上**となるように施工して下さい。(曲げ半径が 150mm 以下の場合、ホースが扁平し流水できなくなる恐れがあります。)



3. 機器側めねじソケットの接続

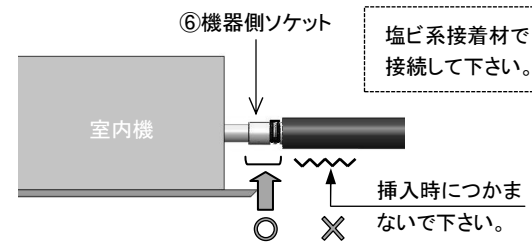
機器側接続口のおねじにシールテープを巻き付け、「スムーズドレンホース FCU 用」のめねじソケットをねじ込み、しっかりと締め付けて下さい。
※まず機器側接続口が R3/4 であることを御確認下さい。



<両端ソケット仕様の場合>

機器側接続口と「スムーズドレンホース FCU 用」の⑥機器側ソケットに塩ビ系接着剤を均等に塗布し、奥まで挿入して下さい。
※まず機器側接続口と⑥ソケットが同径であることを御確認下さい。

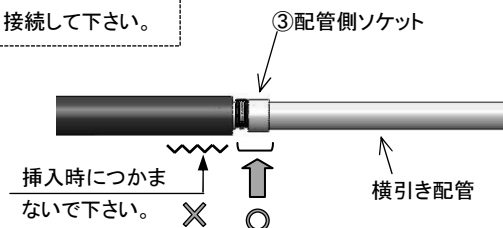
※ソケット挿入の際は、ホース部はつかまず、ソケット部をつかんで挿入して下さい。(ホース部をつかむと根元部破損の原因となります。)



4. 配管側ソケットの接続

「スムーズドレンホース FCU 用」の③配管側ソケットと横引き配管に塩ビ系接着剤を均等に塗布し、奥まで挿入して下さい。
※まず横引き配管と③ソケットが同径であることを御確認下さい。
※ソケット挿入の際は、ホース部はつかまず、ソケット部をつかんで挿入して下さい。(ホース部をつかむと根元部破損の原因となります。)

塩ビ系接着剤で接続して下さい。



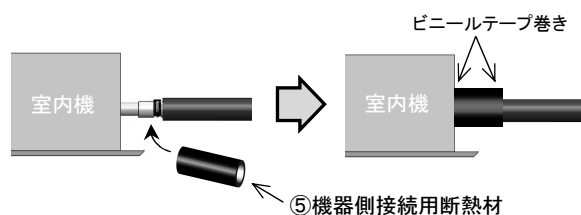
5. 機器側接続部の断熱材の取付

機器側接続口と「スムーズドレンホース FCU 用」との接続部に付属の

⑤断熱材をセットして下さい。

この際、⑤断熱材は接続口の断熱材を覆う長さで切断して下さい。

⑤断熱材の両端口はビニールテープを巻き付けて密封して下さい。



6. 配管側接続部の断熱工事

配管側接続部の断熱は、横引き配管の断熱工事にて施工して下さい。

この際、「スムーズドレンホース FCU 用」側断熱材が完全に覆えるところまで断熱施工して下さい。

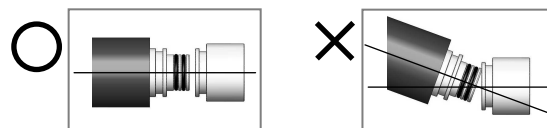
※③のソケットが VP30 用の場合には付属の断熱材をご使用下さい。



⚠ 注意事項

- ◆ 空調ドレン配管専用のホースです。その他の配管には使用しないで下さい。
- ◆ ホースに無理な引っ張りや、ねじれ、扁平などが生じないように注意して下さい。
- ◆ 曲げて使用される場合は、必ず最小曲げ半径(150mm)以上になるように施工して下さい。
- ◆ ソケット接続の際は、必ず塩ビ系接着剤をご使用下さい。
- ◆ ホースが万が一損傷した場合は新品に取り換えて下さい。
- ◆ ファスナー部を脱離させる際は、必ずプラグ側の O リング部を

- ◆ プラグを再挿入する際には、ソケットの中心線に合わせて真っ直ぐ挿入して下さい。斜めの状態で挿入しますと O リングを傷付けたり挟み込む恐れがありますのでご注意下さい。



- ◆ ファスナー部の装着の際には、プラグがソケットに当たるまで確実に挿入し、所定の位置でファスナーを装着して下さい。

